

## モデル校での「いのちの教育プログラム」活用例

日時	回数／ 教科等	時間 (分)	活動 場所	指導者	単元	学習内容	学習媒体	具体的な取組
5月	1回目 ／ 特活	45	パーク (遠足)	パーク	私たちと動物の関わり	自分を取り巻く動物を知る	低学年プログラムⅠ	身近な動物について振り返り、その動物との関わり方を考える。
		120		担任	動物と自分を比べてみよう	動物と人間の共通点や違いに気付く	パーク内の動物 スタンプラリー など	動物舎での見学やえさやりを通して、それぞれの動物の身体や暮らし(飼育環境)の違いを観察する。
5月	2回目 ／ 図工	90	学校	担任	パークでの思い出を描こう	パークの動物を描く	絵画	パークでの見学を思い出して、パークの動物の絵を描く。
7月	3回目 ／ 生活	45	学校 (出前授業)	パーク	動物と私たちの「いのち」は同じ	動物の「いのち」・「感情」・「ニーズ」を考える	低学年プログラムⅡ	生きている証拠を探し、動物たちのニーズを知り、動物の気持ちを考える。
9月	4回目 ／ 生活	45	学校 (出前授業)	パーク	動物のために私たちができること	動物へ果たす責任を知る	低学年プログラムⅢ	私たちが動物のためにしなければならないことを学習する。
12月	5回目 ／ 国語	45	学校	担任	動物と私たちの約束	私たちがすべき行動を考える	作文	“自分たちが動物にできること”をテーマにした作文を書き、学習のまとめをする。